

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホーム理念に基づき業務を実践していけるように可能な範囲で職員を集めてスタッフ会議を実施し理念を共有できるように取組んでいるが、スタッフ全体で話し合いの場を持つには至っていない。	スタッフ全体での話し合いの機会を設ける等、より一層の理念の共有と実践に繋げていけるような取組みの工夫をしたい。	日常的に、スタッフが認知症の人の理解や支援の方法等について、意見や気づいた事、疑問に思った事等を申し送り(気づき)ノートへの記入を通して、定期的なスタッフ会議の機会を継続する事と合わせて、行事等でスタッフの勤務体制の調整ができる機会を設けて話し合いの場を持つ。	3ヶ月
2	35	地域の民生委員氏より、地域の「避難訓練」に施設として参加したらどうか？少なくとも「避難訓練」の結果報告はほしいとの積極的な支援の意向を頂いている。地域の防災意識が高く自治会の求めに可能な範囲で応じる。	地域の避難訓練への協力及び、避難の在り方について運営推進会議で検討し、地域との協力体制を築く。	火災以外の地震や水害等を想定した対策や避難訓練の内容や結果を可能な範囲で提供する。	6ヶ月
3	2	地域の小学校や公民館が活動の拠点となって実践しているので、参加して地元とも交流に努めたい。	地域活動や、ホーム内の地域交流室を活用した取り組み等、地域との様々な関係づくりに取り組みたい。	公民館行事等の地域行事への関係づくり。ホームの地域交流室を活用した(民生委員会等)の取り組み。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。